

## 第2回 品川区教育振興基本計画策定委員会 会議録（議事要旨）

日 時：令和6年6月14日（金）9:30～11:00

場 所：品川区役所第二庁舎6階第1委員会室

出席者：

委員	(出席委員) 樋口委員長、鞍馬副委員長、金子委員、市川委員、松本委員、吉田委員、加藤委員、伊藤委員、外山委員、江藤委員、宮崎委員、石黒委員、薄木委員  (欠席委員) 野口委員、丸山委員
事務局	米田教育次長、佐藤子ども未来部長、船木庶務課長、荒木学校施設担当課長、柏木学務課長、中谷指導課長、丸谷教育総合支援センター長、唐澤特別支援教育担当課長、河内品川図書館長、齊藤統括指導主事、升屋統括指導主事
その他	庶務課庶務係 担当者2名、策定支援受託事業者 担当者2名

### 1. 開会

### 2. 委員長挨拶

### 3. 議事

- (1) 第1回策定委員会会議録について
- (2) 品川区教育振興基本計画骨子案について
- (3) 子どもたちへの意見聴取について

#### 【議事概要】

- (1) 第1回策定委員会会議録について

会議録について、①全文ではなく議事要旨により公開すること、②正副委員長による確認をもって委員全体の承認を得たものとして取り扱うことの2点について事務局から提案し、委員の了承を得た。

- (2) 品川区教育振興基本計画骨子案について

事務局が作成した骨子案の概要について説明し、予め用意したキーワードおよびキーセンテンスに基づき委員の意見を伺い、引き続き検討を進めることとした。

<主な意見・質疑>

(委員質疑)

施策体系に関して、前回会議にて承認をしたところであるが、文章・文言はこれで決定か。私としても方向性は承認したつもりではあったが、可能であれば本文はもう少し委員の皆さんと一緒に検討できたらと思い確認した。

また、概要版は作成するのか。

(事務局回答)

表現の言葉遣いを一字一句全て決定したとの認識は持っていない。委員の意見を聞きながら最終的な完成に向けて進めていく。概要版は作成予定である。

(委員意見)

骨子案 第2章「教育を取り巻く動向の変化」に、OECD（注記 経済協力開発機構）から出されているPISA（注記 国際学習到達度調査）の結果等を掲載してはどうか。

(委員意見)

骨子案 P. 15「品川区の状況」における就学前教育の記載について、注釈で3つの観点を示しているが、最新版の「のびのび育つしながわっこ」では幼児期の終わりまでに育てて欲しい10の姿で記載がされている。そのあたりを踏まえてもう少し表現を見直してもよいと感じた。

(委員意見)

骨子案 P. 17「主な取り組み」について、区がこれまで教育施策に力を入れてきたことを踏まえ、今までの取り組みをもう少し詳しく載せていただきたい。例えば品川区は英語教育やコミュニティ・スクールとしての活動、いじめ防止に関しても品川区は先進的な取り組みを進めており、可能な範囲で追加してはどうか。

(委員意見)

骨子案 P. 15における家庭教育支援の記載について昨今は学校によってPTAという名称を付けずに活動している組織が増えている。PTAと称する組織のみを支援することが家庭教育支援ではない時代になっていることや、PTAに対する事業委託を行うことが支援になる訳ではない状況を踏まえ、学校、区、保護者代表が連携して関わりあうことができればと思う。

(委員意見)

骨子案 P. 20の目指すべきビジョン「個人・社会のウェルビーイングを実現するための子どもの資質・能力の育成」について、「個人・社会」とすると、社会のための個人のような意味で解釈されることもあると思うので「個人及び社会」等、「・」を使用しない表現が良いのではないか。

また、P. 21の施策体系の「施策推進における12の方向性」は1番から12番までに順位付けはあるのか。乳幼児教育に携わる立場からすると3番の「豊かな心・健やかな身体の育成」が1番最初に記載すべきように考えてしまう。

(事務局回答)

具体的な表記については今後検討したい。また、施策推進の12の方向性の各項目

に順位付けはないが、どのように記載していくかについては、委員の意見を参考に考えていきたい。

(委員意見)

骨子案P. 20「目指すべきビジョン」におけるキーセンテンス、キーワードについて、「区独自のウェルビーイング」とは具体的なものが今後示されるのか。

(事務局回答)

ウェルビーイングが具体的にどういうものなのか、品川区としてしっかり具体的に共有していく必要性は非常に重要だと考えている。

(委員質疑)

目指すべきビジョン「個人・社会のウェルビーイングを実現するための子どもの資質・能力の育成」について、方向性は良いが、この表現方法だと目指す「姿」とまで言えないという印象を受けている。区民や教育に携わる人々がイメージできることが大切で、ワクワクする文言を用いてキャッチコピーのようなものにしてはいかがか。

また、骨子案P. 20「目指すべきビジョン」とP. 21「施策体系」の間に、ビジョンに込めた私たち委員の思いや区民へのメッセージというのを、1つの章として成立させてわかりやすく説明してはいかがか。

(事務局回答)

OECDのラーニングコンパス、学びの羅針盤をベースにしながら、子どもたちの資質・能力をどのように育てていくのかを検討している。どのようなプロセスを進めていくかを図式化した形でお示しし、その上で「目指すべきビジョン」以降を見るような順番を辿ると共感を得やすいと考えている。

(委員意見)

骨子案P. 20「目指すべきビジョン」におけるキーセンテンス、キーワードについて、協働性やつながりに相当する視点が、少し薄いと感じる。個人が責任を持って行動し何かを実現するだけではなく、誰かと協力し合う中で何かを達成することが学校教育の根幹にあると思うので、そういった点を反映するような記載があると良い。

(委員意見)

骨子案P. 24「施策2 確かな学力の育成」のキーワード・キーセンテンスについて、「就学前教育との接続を滑らかにし」という趣旨が読み取れると良い。

(委員意見)

施策推進における12の方向性として「施策1 幅広い知識・専門的能力の育成」の前に「施策2 確かな学力の育成」があるべきではないか。

(委員意見)

品川は人権尊重都市品川宣言をしていることから、どこかの項目に人権を尊重する心を育むという趣旨の言葉が入れられると良い。

(委員意見)

骨子案P. 25「施策5 グローバル・イノベーションを担う人材育成、職業実践力の育成」について、日本の素晴らしさを確認できるような文言を加えられると良い。

(委員意見)

骨子案P. 26「施策8 社会・経済状況によらない教育の実現」のキーワードセ

ンテンスについて、教育負担の軽減だけが謳われており、社会状況によらない教育の実現を具体的にはどのように考えているかが読み取れない。

(委員意見)

骨子案P. 27「施策11 教育DXに向けたICT環境の整備」について、ICTの活用はとても良いが、その日常化というところまでキーワード化できると良い。

(委員意見)

骨子案P. 27「施策12 安心・安全な教育環境の整備」は施策6と重複するよう思う。地域だけでない関係施設・機関との連携という点にも触れられると良い。

(委員意見)

骨子案P. 27「施策10 教職員のサポート・指導体制の確保」について、施策項目には教職員、キーワードには教員とあるが、教職員の方が適切ではないか。

(委員意見)

骨子案P. 27「施策10 教職員のサポート・指導体制の確保」について、キーワードとして、教職員が生き生きと子どもたちに向き合う等、「生き生きと」という文言を使用できると良い。

(委員意見)

骨子案P. 27「施策12 安心・安全な教育環境の整備」について、施設整備と見守り、多分まもるっちとか、様々なものが入ってくると思うのですが、品川区は地域防災に力を入れているので、防災教育の文言が含まれると良い。

(委員質疑)

骨子案P. 28、29「本計画とSDGsとの関係性」について、17の目標(ゴール)のうち含まれていない目標もあり疑問に感じた。

(事務局回答)

SDGsにおける17の目標すべてを本計画に紐づけられるかは今後検討していく。

(委員質疑)

骨子案P. 28、29「本計画とSDGsとの関係性」について、12の方向性の項目に対して設定した各目標を達成するためのKPI(目標達成のための指標)や、17の目標に紐づく169のターゲットとの関連まで落とし込まれているのか。

(事務局回答)

現時点でKPIや169のターゲットまで落とし込んでいる訳ではない。そういった視点を見据えながら見せ方を検討していきたい。

### (3) 子どもたちへの意見聴取について

計画策定にあたり実施する子どもたちへの意見聴取について、事務局にて計画した実施概要およびテーマ案について説明し、実施概要について概ね了承を得るとともに、テーマ等実施内容については引き続き検討を進めることとした。

<主な意見>

(委員質疑)

当日は傍聴可能なのか。

(事務局回答)

傍聴については考えてはいなかったが、子どもたちがどのような意見をもっているのかを知るための機会として考えたい。

(委員質疑)

例えば9年生と5年生が来た場合、同じグループになるのか別々なのか。それぞれ発達段階も異なるので、そこをどう進めるのか確認したい。

(委員長回答)

1グループ6名の学年構成はバラバラとする。上の学年の子は、ある程度下の学年の子を上手く導けるような力のある子が来てくれると良い。

(委員質疑)

人数が概ね1校1名になっているが、希望があった場合に1校から複数名を参加させることはできるのか。

(事務局回答)

調整の範囲で、意欲の高い人がいれば、ぜひ意見をいただきたい。

(委員質疑)

募集は教育委員会事務局にて行うのか。また、引率は必要に応じて保護者、教職員とあるが、引率者は別室待機となるのか。子どもの姿を見たいと思う引率者もいると想定し明記したほうが良い。

(委員長回答)

資料に記載されているよう、学校へ調整をお願いすることとなる。引率者の参観については子どもが萎縮しないよう配慮が必要である点を踏まえ、事務局に検討をお願いしたい。

(委員質疑)

CS DAYとはどのような事業か。

(事務局回答)

校区教育協働委員会に子どもたちも入り、学校によって自主的に設定したテーマについて議論することで、子どもたちの成長に結び付けようとする取り組みである。昨年度から始めた年1回の取り組みで、全ての学校で実施しており、小学生も積極的に意見を述べて活躍している。

(委員質疑)

ファシリテーターの策定支援業務委託事業者は当たりがついているのか。

(事務局回答)

本計画策定支援業務受託事業者がファシリテーターを努めることとなっている。これまでワークショップの経験が多々ありますので、その知見を活用しながらファシリテーターを行う想定で進めている。

#### 4. 連絡事項

#### 5. 閉会